

港湾局長の海外出張について

平成30年度の港湾局長の海外出張についてお知らせします。

1 出張者および出張先

出張者 港湾局長 斎藤 真人

出張先 仁川広域市、仁川港

2 出張期間

平成30年5月31日(木曜日)から同年6月1日(金曜日)まで(1泊2日)

3 出張用務

韓国の主要な空港・港湾都市である仁川広域市でまちづくり関係部署や港湾管理者を訪問し、港湾機能と隣接したまちづくりの実例について情報収集・意見交換を行う。

4 経費

785,365円

5 同行者数

3名

6 出張先での行動

5月31日(木曜日)

移動(成田→仁川)

仁川広域市訪問、松島国際都市視察

6月1日(金曜日)

港湾管理者(港湾公社)訪問、国際旅客ターミナル等視察

移動(仁川→羽田)

7 出張の成果

(1)松島国際都市

仁川市経済自由区域庁(IFEZ)を訪問し、松島国際都市の市街地造成関連事業に関する意見交換を実施した。松島国際都市は、東京都の臨海副都心の10倍以上の面積を持つ埋立地であり、多くの高層ビルやマンションが現在も建設中であり、仁川市の臨海部における戦略的な都市づくりについて、現地視察も含めて直接確認できた。また、MICEや先

端産業拠点の集積地としての開発を目指していることなど、臨海副都心との共通点も多く存在しており、非常に有意義な意見交換を行った。

また、スマートシティ運営センターの視察を実施した。松島国際都市内に配置された監視カメラネットワーク等の先端技術によって、24 時間体制で防災・防犯・交通管理が行われており、将来のまちづくりに向けて重要な参考とすることができた。

(2) 仁川港湾公社

仁川港湾公社の案内により、仁川新港にて営業している港湾会社を訪問した。自動化無人ヤードクレーンなど、最新の港湾運営を見学することができた。

次に、仁川港湾公社との意見交換を実施した。エンターテインメント施設等を誘致するゴールデンハーバー計画など、客船ターミナルと連携した将来のまちづくりについてリアルタイムでの有意義な情報を得ることができた。

最後に、現在建設中の新客船ターミナルの現場を視察した。東京港の新客船ターミナルと同規模であり、今後の運用において大いに参考となった。

8 お問合せ先

港湾局臨海開発部誘致促進課

03-5320-5583